

理事長杯競技要項

1. 競技方法

- 18ホールズストロークプレー
- アンダーハンディ戦
- バックティー使用

2. 競技の条件

① ホールとホールの間での練習禁止

ホールとホールの間では、プレーヤーは最後にプレーしたホールのパッティンググリーン上やその近くで練習ストロークをしてはならないし、球を転がすことによって最後にプレーしたホールのパッティンググリーン面をテストしてはならない。

② スタート後の打球練習場及びアプローチ練習場の使用禁止

3. ローカル・ルール

- ① 修理地は、青杭又は白線をもって標示する。
- ② ラテラル・ウォーターハザードは赤杭をもって標示する。
- ③ インコース13・14番ホールの縞杭は、適用外とする。
- ④ 排水溝は動かさない障害物とする。
- ⑤ 人工の表面を持つ道路に接した排水溝は、その道路の一部とみなす。
- ⑥ 元電磁誘導カート用の3本のコンクリート軌道は全幅をもって動かさない障害物とみなす。
- ⑦ スルーザグリーン内で地面にくい込んだ球は罰なしに拾い上げて拭き、ホールに近づかない個所にドロップすることができる。
- ⑧ スプリンクラーが、パッティンググリーンから2クラブレンジス以内にあり、球からも2クラブレンジス以内の範囲内で、球とホールの間プレーの線上にかかっているときは、その球を拾い上げて拭き、ホールに近づかない箇所にドロップすることができる。
- ⑨ パッティンググリーン上で球が偶然に動かされた場合、規則 18-2、20-1 は以下の通り修正される。

プレーヤーの球がパッティンググリーン上にある場合、その球やボールマーカークがプレーヤーやパートナー、またはそのいずれかのキャディーや携帯品によって偶然に動かされても罰はない。

その球やボールマーカークは規則 18-2、そして規則 20-1 に規定されている通り

にリプレイスされなければならない。このローカルルールはプレーヤーの球やボールマーカーがパッティンググリーン上にあり、いかなる動きも偶然である場合にだけ適用する。

注：パッティンググリーン上のプレーヤーの球が風、水あるいは重力などの他の自然現象の結果として動かされたものと判断された場合、その球はその新しい位置からあるがままの状態プレーされなければならない。そのような状況で動かされたボールマーカーはリプレイスされることになる。

⑩ プレーヤーは距離計測器の使用によって距離の情報を得ることができる。正規のラウンド中にプレーヤーのプレーに影響する可能性のある他の条件（標高変化、風速など）を計測するために距離計測器を使用した場合、プレーヤーは規則 14-3 の違反となる。

⑪ 規則 6-6 d 例外は以下の通り修正される。

どのホールであっても、競技者がスコアカードを提出する前には罰を受けていたことを知らずに 1 打または複数の罰打を含めなかったために、真実より少ないスコアを提出していた場合、その競技者は競技失格とはならない。このような状況では、その競技者は該当する規則に規定されている罰を受けるが、規則 6-6 d に違反したことに対する追加の罰はない。

該当する罰が競技失格である場合にはこの例外は適用しない。

⑫ 本ローカル・ルールに記載されていない事項はすべて J G A 競技規則による。

4. 順位の決定

同ネットの場合ハンディ上位、同ハンディの場合カウントバックとする。